

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 1日

事業所名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		構造化の中で支援を行っている	安心して過ごしながらスケジュールに沿う活動を行う。
	2	職員の配置数は適切である	9		マンツーマン、もしくは一人に二人の配置をしている。	状況に応じた職員数での支援を行う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		マットや踏み台等の準備。	保護者様の要望を確認しながら、安心して過ごせるように、環境設定を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		毎日、掃除、消毒を徹底している	今後も掃除や消毒を徹底して行う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	2	常時、支援計画等を認識できるようにしている。	全職員と共有しながら実施している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		定期的に実施し、会議等を踏まえて業務改善につなげている。	保護者様と信頼関係を構築できるよう保護者様の意向を把握する。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2	ホームページにて閲覧できるようにしている。	ホームページや通信にて発進していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			該当なし	必要に応じて検討する。
適切な支援	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	5	毎年、研修参加出来ていたがコロナ禍で参加できていない。	より多くの研修の機会を設ける。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	2	ニーズを踏まえた計画書の作成をしている。	保護者様と児童の課題を共有しながら今後も作成する。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	標準化されたものだけではない	アセスメントを定期的にも実施した標準化されたものも使用する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	2	保護者様と共有しながら作成している。	保護者様と児童に必要な支援を共有しながら計画書作成を行う。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9		全職員共有し支援を実施している	全職員、支援計画の共通認識の元、支援を行う。
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		毎月、各職員で話し合いながら実施している	全職員で立案できるような機会を持つ。	

援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	児童の特性を踏まえて活動内容の検討をしている	児童の特性を踏まえ、活動の実施、振り返り
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	9	児童の特性を踏まえて個別集団活動を実施し計画書の作成をし	児童の特性を踏まえ、個別集団活動の実施、計画書の作成をする。無理のなく個別、集団活動に参加、取組みをしてもらう。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	朝礼、昼礼じに職員間で共有している。	今後も朝礼、昼礼時に職員間で共有していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	終礼時に職員間で共有している	終礼時、職員間で児童の情報共有と振り返りを行い気付き等があれば保護者様へ連絡し改善に繋げていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	ケース記録や日誌に記録し、改善や向上につなげる。	記録の共有をし、振り返りと改善につなげる。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	定期的にモニタリング実施ができています。	定期的なモニタリング実施と必要に応じたモニタリングを行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	管理者が適時、参加している。	積極的に会議に参加し、課題解決へのアプローチができるようにする。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	2。 関係機関と連携が出来ている (会議等にて共有)	関係機関と連携し今後も支援に努めていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		該当なし	今後、該当者があれば、連携して支援を行う。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		該当なし	今後、該当者があれば、連携体制を整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	電話や会議等で情報共有ができています。	情報の共有と連携を必要に応じて行う。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	2 電話や会議等で情報共有ができています。	情報の共有と連携を必要に応じて行う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	8 コロナ禍で機会がない。	必要に応じて機会を設ける。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	2 連絡帳や送迎時の引き渡し時に伝達、また必要に応じて面談を行っている。	保護者様からの相談等は全職員で共有し共通理解をはかる。

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	7	2	支援計画作成時に説明を行っている。	関連機関からの研修の周知と参加の奨励を行う。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約に説明している。	要望があれば、適時、説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9		計画書の説明と同意を得ている。	同意を得て、計画書の説明と作成を行う。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		電話、連絡帳、送迎時の引継ぎ時、面談等で行っている。	保護者様の相談に適切に応じるよう努めていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	5	コロナ禍で休止。	コロナ禍以前に開催していたが再開要望があり、検討中。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	2	相談や申し入れには迅速に対応するよう心掛けている。	安心して利用が出来るよう相談には迅速に適切な対応につとめる。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		定期的なホームページの更新や通信を発行し保護者様や各関連機関に配布、発信す	定期的にホームページの更新や通信を発行する。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9		全職員に周知、徹底している	個人情報の取り扱いには十分に気をつける。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		個別に応じた方法で配慮している。	保護者様と情報の共有をしながら、配慮していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			コロナ禍で機会がない。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9		契約時に説明する。定期的に訓練を実施している。	定期的に訓練を実施していく。マニュアルを周知しながら体制を整えている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0		定期的に訓練を実施している。	各々の特性を踏まえて配慮しながら、今後も定期的に訓練を実施していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している			利用前に保護者から聞き取りが出来ている。	利用前に保護者から聞き取りを行い、適切に対処できるようにする。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			該当者なし	利用前に保護者から聞き取りを行い、適切に対処できるようにする。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			事例集を作成して共有している。	振り返りや改善が出来るように作成し、同じケースが無いように努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			定期的に研修を受け、全職員に周知している。	定期的に研修に参加し、全職員に周知する。虐待の芽の早期発見。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			必要があれば、保護者との話し合いの上に計画書に記載している。	該当があれば、保護者の同意を得て、計画書に記載。